

利用者忘年会

12月14日に行いました。今回も、府立工の演奏に花を添えてもらい、気持ちよく酔いました。



府立工業高校の皆さんの演奏でスイングするぜ!



今夜は、踊りまろう。



お腹いっぱい、忘れてしまおう……。

編集の窓辺

一段と緊迫感を増す世界で、軍靴の足音が響きを大きくしている。恩讐の歴史のわだちから踏みはずせないのは、人間の遺伝子そのものだからだろうか。

生命が芽吹く季節、梅の香気の中、いつも以上に寒暖の厳しさを感じるのは、風が激しくまわっているためだろうか。いのちの叫びが……。

安全、安心がゆらく。しっかり踏ん張らないと倒れてしまう。足元にちからを。地震、時針、自身、自信。何を求めて、進むのか。

障害者福祉の支援費制度が始まる。『支援』の意味を今一度問いただし、発進しましょう。

(ものぐさ編集人より)

しんあいタイムズ

発行人 婦木俊明

知的障害者授産施設 信愛育成苑 〒620-0878 京都府福知山市堀360

0773-22-8694 FAX 0773-22-9150 E-mail sinai@mxn.nkansai.ne.jp

ホームページ http://www5.nkansai.ne.jp/org/sinai2346/



「冬期個別期間に旅行に行きました。」



今年は、翔の年です。

にこやかに弾んでいきましょう。

第1班 楽しみにしている年に一度の一泊旅行。今年は、利用者さんの多くの希望もあってハリウッド映画の撮影セットを再現した『ユニバーサル・スタジオ・ジャパン』に入場、ゲートをくぐり、スヌーピーのぬいぐるみのお出迎え、さっそく側に行き記念撮影。さあ、どこのショー・アトラクションにと行こうかとグループに分かれてチケットを手にいざ出発！「E.Tアドベンチャー」では自転車に乗った気分宇宙旅行、「ジョーズ」遊覧船に乗ってサメが群がる航海に、突然、水しぶきをあげてサメが登場！水をあびたり、驚いたりと迫力満載、感動いっぱいの数々のショーを楽しみ、時間もせまり、気になるお土産コーナーでは、人気があったのはスヌーピーの入れ物にポップコーンが入ったもので手に下げて「良かった、

一泊旅行
1班 10月23～24日
2班 10月29～30日



どこにいこうか



ちょっとピンボケ。

おもしろかった、もっといたいなあ」と声もある中、あっという間に時間が過ぎて「USJ」を後に旅館へ。温泉につかり、宴会場へ料理を食べながら「USJ」の話も飛び交う中、そこからは生駒の夜景ではがともきれいでした。2日目は宝塚方面、なつかしい鉄腕アトムで知られる手塚治虫記念館を見学し宝塚ファミリーランドでは珍しい動物ホワイトタイガーに会い、ゾウさんをバックに写真撮影、水をかけられる一幕もあったとか…。あっという間の2日間、映画セットのスター気分を十分満喫し、心身のリフレッシュができたのではと……。



第2班
10月28日、待ちに待った一泊旅行の当日、少し肌寒い中第2班のメンバー利用者25名、少し不向きであるかとも感じましたが、そんな事もなく皆さんスリルを楽しんでおられ、職員9名、総勢34名がバスに乗り込み、第一班の旅の思い出話を想像しながら、大阪の旅に向けて出発しました。USJに到着すると、グループ行動でそれぞれ違うルートでパーク内を廻りました。私のグループでは、入場ゲート近くのショッピング街で早めの食事



を摂り、その後パーク内のアトラクション等廻る事にしました。平日でお客様が少ないとはいえ、修学旅行などの団体が多く、人気アトラクションでは、行列が出来るほどの人の多さであった為、空いているアトラクションから廻る事にしました。乗り物では、ジェットコースターなど、絶叫マシンが多く、私のグループでは、年輩の方がほとんどで絶叫マシンは少し不向きであるかとも感じましたが、そんな事もなく皆さんスリルを楽しんでおられました。ショーも鑑賞しましたが、ただ見るだけでなく、見ている自分もショーに参加しているようで、まるで映画が私達の前に飛び出てきた様な感じで迫力がありました。この様に、色々なアトラクションやショーを廻り、歩きつかれたところで皆さ

んおみやげを買う事にした。マグカップやクッキーなど、あらゆる物が店内には並んでおり、欲しい物ばかりで悩まれた方もおられたと思います。

ホテルでは、温泉やご馳走などで、皆さん日頃のストレスを解消され、満足されたかと思えます。

翌日は、手塚治虫記念館、宝塚ファミリーランドに行きました。手塚治虫記念館では、過去の漫画や歴史などが展示してあり、漫画好きな方は、とても興味があり楽しんでおられた様に思えます。ファミリーランドでは、有名なホワイトタイガーなどの動物や多くのアトラクションがありました。時間が少し足りませんでした。他のお客様も少なく、スムーズに乗り物等乗る事が出来ました。

この様に、楽しかった1泊2日の旅を終えて、利用者間の団結力及び職員との親近感が再度見直されたように思います。この事を踏まえ、明日からの苑生活及び作業を頑張っていければと思います。



「不死鳥ですか。」

しんあいまつり

今回は、11月10日にむすび育成苑と合同で開催しました。

